

重誓寺報

第39号 平成29年7月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

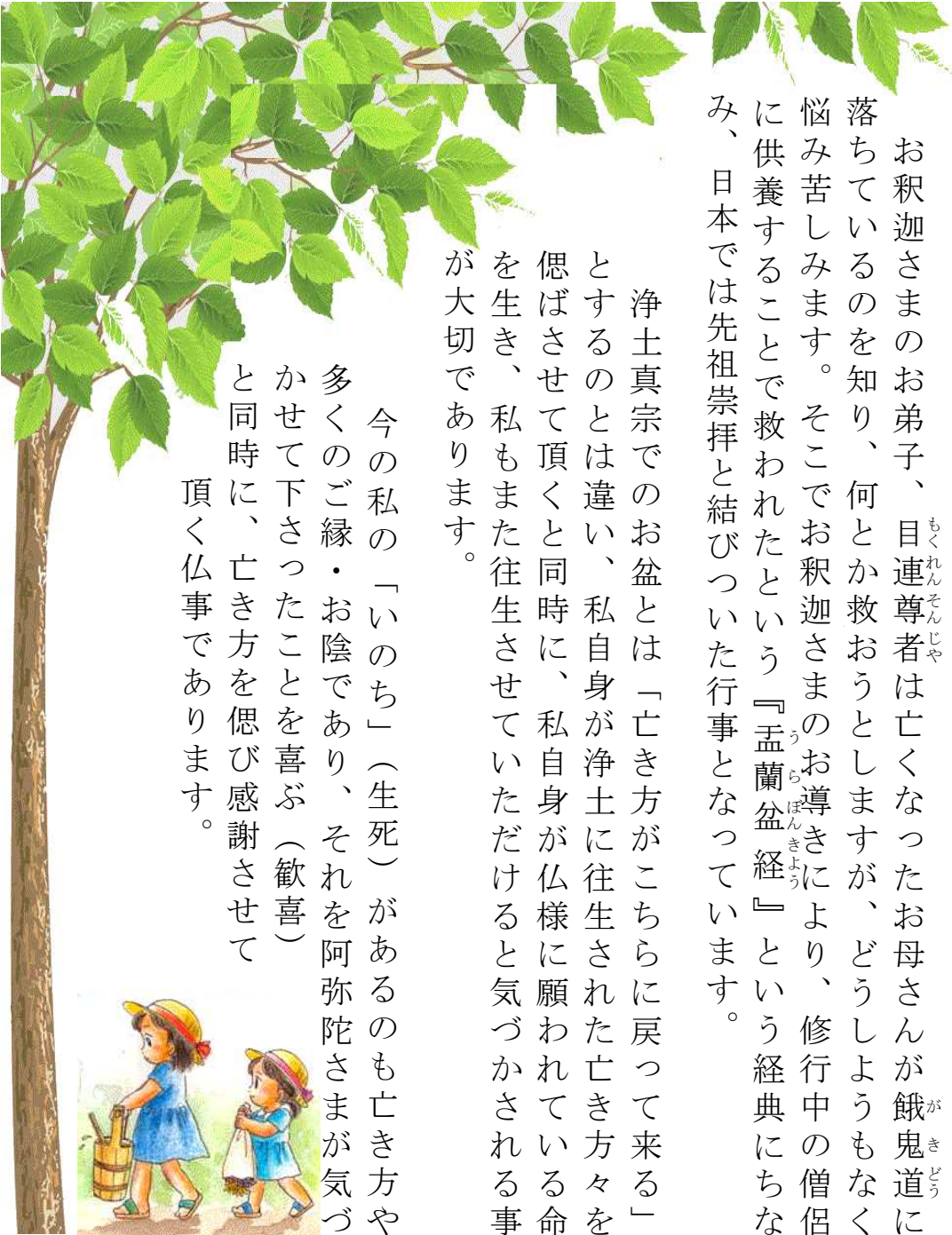
大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

梅雨の時期が過ぎると、いよいよ夏本番。お盆も近づいてきました。普段はお盆と言っていますが、盂蘭盆会を略したもので、歓喜会とも言います。

お釈迦さまのお弟子、目連尊者もくれんそんじやは亡くなったお母さんが餓鬼道がきどうに落ちていたのを知り、何とか救おうとしますが、どうしようもなく悩み苦しみます。そこでお釈迦さまのお導きにより、修行中の僧侶に供養することで救われたという『盂蘭盆経うらんぼんきやう』という經典にちなみ、日本では先祖崇拜と結びついた行事となっています。

浄土真宗でのお盆とは「亡き方がこちらに戻って来る」とするのとは違い、私自身が浄土に往生された亡き方々を偲しのばせて頂くと同時に、私自身が仏様に願われている命を生き、私もまた往生させていただけると気づかされる事が大切であります。

今の私の「いのち」(生死)があるのも亡き方や多くのご縁・お陰であり、それを阿弥陀さまが気づかせて下さったことを喜ぶ(歓喜)と同時に、亡き方を偲しのび感謝させて頂く仏事であります。



法座のご案内

重誓寺では毎月法座が勤まります。

どうぞお誘い合わせお参り下さい。

常例法座

七月二十日(木)

講師 不死川 浄師

秋季永代経法要

九月二十日(水)、二十一日(木)

講師 寺本 正尚師

常例法座

十月二十日(金)

講師 宏林 晃信師

いずれも、昼・二時 夜・七時より

お勤め三〇分、法話約一時間

歡喜会ジャズライブ

8月6日(日)午後6時より

お勤め、法話(住職)

ライブ

ウィリアムス浩子(ボーカル)

北脇 久士 (ギター)

8月常例法座はありません

心に残った法話のお言葉

私たちはどんなに頑張っても、色んなことが出来なくなる。だからこそ仏様は見捨てずに救うとおっしゃる。もし往生するの
に自分の力が少しでも必要なら行くことが
出来ない世界であります。

(三月 味府浩子師)

良い事をしようとする、自分の手柄にする。そんな自分を知り、念仏の教えに向けて行くと、このままで生かされる道がある。これが他力往生の道であります。

(四月 藤岡良治師)

生きて行くには衣食住が必要です。住むところ、帰るところがあるから行くことが出来る。お浄土へ還っておいでと言って下さるからこそ、この世でゆっくり過ごせるのです。

(五月 高澤正文師)

蓮華は泥に根を張り、泥の栄養を吸って綺麗な花を咲かせる。仏様の働きの中心は泣き、笑い、怒りを繰り返す、煩惱の泥に住む私たちなのです。

(六月 平戸昭乗師)

親鸞聖人 和讃の教え

生死しやうじの苦海くかいひとりなし

ひさしくしづめるわれらおぼ

弥陀みだぐぜい弘誓いのふねのみぞ

のせてかならずわたしける

(高僧こうそう和讃わさん 七)

迷いにとらわれた堂々巡りのいのちは際限ない海のように、その海に溺れ続ける私たちを、阿弥陀如来の誓いの船だけが、救い取つてさとの世界へと渡してくださる。

今、ここに私が私として居る事を不思議に感じることはありませんか？

多くの先祖からの様々な縁によつて私は生まれてきたことは、何となく感じることは出来ます。ひよっとすれば、いろんな命を輪廻して、ようやく人間として生まれて来たのかも知れませんが、それらは計り知ることとは出来ませんが、ただ私がここに生き

ている事は事実で、そしてまたいつかこの肉体が滅んで行くことも確かです。

親鸞聖人は過去・現在・未来の三世に渡る命を示されています。今の命が終わればおしまい・・・ではなく、次に生まれ往く世界を考えておくことが、今の人生を生きものにするのではないのでしょうか。

私が人として生まれて来たことは不思議なことです。しかしそれは、苦の輪廻から、必ず救うと誓って下さった阿弥陀様の光りに出遇わせて頂くことが出来る機会を頂いたということでもあります。

仏教のある環境に育ち、お念仏の教えに出遭える縁を持つことは、そこに私の計らいを越えた大きな働きがあるからではないのでしょうか。



いつも落語会でお世話になっています、桂小春團治師匠のツアーに参加してきました。

バスで倉敷から瀬戸大橋を渡り、今治から道後温泉、そして今回のメインであります、東洋のマチュピチュと呼ばれる愛媛・別子銅山跡を見学してきました。

桂
小
春
團
治
師
匠



別子銅山：標高 750m の山中にある東平は、大正 5 年から昭和 5 年までの間、別子鉦山の採鉦本部が置かれ、社宅・小学校・劇場・接待館が建てられるなど、昭和 43 年に休止するまで町として大変な賑わいをみせていました。



倉敷：白壁土蔵のなまこ壁に、軒を連ねる格子窓の町家。そして川面に映る柳並木。倉敷川沿いには情緒豊かな町並みが形作られ、江戸・明治時代に作られた邸宅や土蔵など伝統的な建物が並ぶ



今治タオル記念館



重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail info@juseiji.net

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。